

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日: 2022年6月3日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: アーカンソー州立大学 現地言語: Arkansas State University
留学期間	2021年8月～2022年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	communication <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年6月1日
明治大学卒業予定年	2024年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月中旬～12月中旬 2学期:1月初旬～5月初旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	13000
創立年	1909年

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	\$0	0円	明治大学の学費、アーカンソー州立大学に払わなくて良い
宿舍費	\$5400	円	\$2700(1学期)
食費	\$5800	円	カフェテリア\$1900(1学期)+諸食費約\$2000(だいたい)
図書費	\$0	0円	
学用品費	\$500	円	教科書を無駄に買ってしまった(最初の学期)。レンタルするのがおすすめ
携帯・インターネット費	\$800	円	SIMとインターネット代で300ドル、携帯を壊してしまったため\$500で1度修理と友人から中古を購入
現地交通費	\$0	円	基本友人やホストファミリー(学内のイベントで知り合ったホストファミリー)に運転してもらっていた(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	円	
被服費	\$500	円	オンラインで少し気になったのを買ったの訪れた各所で購入
医療費	\$240	円	帰国前PCR検査
保険費	\$600	円	形態:学内のインターナショナル生徒用の保険。正直意味ないけど払わないと授業取らせてもらえない
渡航旅費	\$3800	円	行きはJTBに委託で\$2500(委託代で無駄に高い。絶対自分でとるべき)。帰りは\$1300。帰国1か月前にとったため高かった。早めにとるか出国前に往復分とってある程度変更の融通が利くチケットを探すべき
ビザ申請費		3万円	だいたいなので曖昧です
雑費	\$500	円	お土産と個人的に集めていたフリッジマグネット
その他	\$1500	円	一度フロリダの友人を訪問、シカゴに友人と旅行、メンフィスに友人と週末旅行
その他		円	
合計	\$約19500	2535000円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地:羽田 目的地:メンフィス(テネシー) 経由地:アトランタ(ジョージア) 復路 出発地:メンフィス(テネシー) 目的地:羽田 経由地:シャーロット(ノースカロライナ)、JFK(NY)
渡航費用
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:デルタ 料金:25万 復路 航空会社:アメリカン 料金:17万 ∴合計:42万
航空券購入方法
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:往路(JTB)絶対自分で買った方がよい) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:priceline(悪くはないけど学生が買うと)) <input type="checkbox"/> その他()

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舍など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Kays hall) <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法:
Myastate から housing でチェックした
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
留学生が住む寮は主に3つ。①North park quads, ②kays hall, ③university hall の3つで①は4人部屋個室ありリビングあり、設備は一番良いと思うが学部生の日本人が多すぎるのが難点。それを気にしないのであればあり。②は主にアメリカ人と0.5割くらい国際生。個人的には住めば都で好きではあった。部屋は質素で個室とトイレ、シャワーのみリビング無し。エントランスにビリヤード、卓球台、エアホッケーがあり、良くイベントなどしてみんなよく夜中まで遊んだりしている。自分は本当に多くの意友をこの寮で作る事が出来た。正直寮にいる9割程度の生徒は全員知り合いだと思う。快適さを取るなら①、アメリカ人の友達が欲しいのであれば②だという感想。③は女子寮。なので良く知らないがアメリカ人が多い。自分の友達がRAをやっているため助けにはなれると思う。ここも選択肢の一つに(女子は)。ほかにもたくさん寮やアパートメントがあるが交換留学生が住めるかはわからない。アドバイザーに聞いてみてください。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:)
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:)
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?
大学周りは一応危険とは言われているが自分が危険を感じたことは特にない。夜に友人と散歩もしていたし友人宅から歩いて帰っていたりもした。そこまで犯罪や危険だらけの地域ではないので過去の留学報告書に騙されて身構えすぎるのはやめてほしい。それで夜遅いからとか言って遊びを断るのももったいない(個人の感想)

<p>4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)</p> <p>学校から出国前に配給された minto mobile を使ったが、正直やめた方がよい。仮にスマホが壊れて買い替えるときに minto mobile の SIM がマイナーな携帯会社であるため SIM対応してなくて購入にてこずった。SIM アンロックのスマホを手に入れるには Apple store に行くしかない。AT & T やその他大手の会社のものを使うのがベスト。Apple Store は 1 時間半車でかかるため友人にも頼みにくい。自分がスマホを壊したときはホストファミリーも 1 時間半ドライブはできないとのことでホストファザーの友人から安く中古の iPhone11 を購入した。</p>
<p>5)現地での資金調達はどのように行いましたか？(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)</p> <p>基本クレジットカード。学内に銀行口座を作り、日本から送金を試みたが失敗。寮費や食費などは fly wire という方法を使って送金。困ったらインターナショナルオフィスに行ってみよう！</p>
<p>6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。</p> <p>日本食。好きなお菓子など。料理したいなら調味料。現地にあるけどあり得ないくらい高い。文房具も向こうで買う必要がないようにしておく。基本はメンフィスの Asian Market である程度の日本食は入手可能だが遠いし高い。</p>
<p>7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)</p>

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
oral communication	口語表現
科目設置学部・研究科	communication
履修期間	Fall 2022
単位数	3
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	talk, 基本自由(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Edna Halt
授業内容	基本何かについて話す。良く脱線して personal な話になり、それで授業が終わる事が多かった。最初の学期にはおすすめ
試験・課題など	特には無かった。中間に一度プレゼンテーション。学期末にグループプレゼンテーションのみ
感想を自由記入	最初の学期に本当にお勧めします。教授によって難易度や内容は異なりますが自分の場合は基本おしゃべりをしたり友人の話を聞いたりしていただけだったので本当に楽しかったです！友達もたくさんできました！Fall 2022 で一番好きな授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
introduction to psychology		心理学入門	
科目設置学部・研究科	psychology		
履修期間	Fall 2022		
単位数	3		
本学での単位認定状況	?単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	lecture(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授			
授業内容	lecture 形式で心理学について学ぶ。どちらかというと脳科学だった。		
試験・課題など	ほぼ毎週リフレクションペーパー。定期試験四回。全てオンライン。		
感想を自由記入	難しかったのは授業ノートの要点をまとめること。単語が全部特殊で二度と使わないだろうという単語をたくさん勉強した。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
introduction to mass communication		マスコミ入門	
科目設置学部・研究科	journalism		
履修期間	Fall 2022		
単位数	3		
本学での単位認定状況	?単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	時による(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Dr. Fears		
授業内容	マスコミの歴史や成り立ちについて学ぶ。教授が持ってきた資料に関してディスカッションやゲストスピーカーのお話し、キャンパス内活動など時よりで授業形態は変わる。とても面白かった		
試験・課題など	毎週小テストオンライン。定期テストが 6 回あり、オンラインの時と対面のときがあった		
感想を自由記入	生徒のチャットグループがあり、みんなで勉強したり質問しあったりクラス全体の仲がとても良く過ごしやすいクラスだった。教授も寛容な方で生徒に質問をあおいだりしていた。マスコミに興味がないと少しきついかも		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
composition I		文章構成 I	
科目設置学部・研究科			
履修期間	Fall 2022		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	discussion(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Andrew Gadberry		
授業内容	教授の文章に関する捉え方やどのように説得力のある文章を書くかなどの考え方を叩き込まれる。基本教授がディスカッションしたい内容をもってきてそれについて話すのみ		
試験・課題など	エッセイが学期内で何個かあるがそこまで大変ではない。		
感想を自由記入	composition は教授によって内容が大きく変わるが、この教授の授業は非常に興味深かった。教授の文章のとらえ方やその他教授の強く推している文章構成の論理を色々聞いてそれに意見する感じ。自分は授業後に質問などをしにいて教授と結構仲良くしていたため特に楽しんだ授業の 1 つだった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
introduction to interpersonal communication		対話入門	
科目設置学部・研究科	communication studies		
履修期間	Spring 2022		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル (チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Dianna Tetteh		
授業内容	一対一の対話における心理状況やコミュニケーションにおける論理や説を教授が説明し、ケーススタディーでディスカッションを行う		
試験・課題など	ディスカッションボードの提出週1。学期内2回のオンラインでテスト		
感想を自由記入	難しかったがなんとかついていけた。個人的に興味深い授業だったし教授も寛容		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
introduction to service learning		サービスラーニング入門	
科目設置学部・研究科			
履修期間			
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	グループワーク(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	Courtney Bracy		
授業内容	クラス全体で1つのプロジェクトを一学期通して行い、リーダーシップやグループワークに伴うプレゼンテーション能力などの実践的な能力を学べた授業でした。		
試験・課題など	特に基本課題は無く、期末に近づくにつれ課題が出ましたが、多くはリフレクションペーパーやプロジェクトの進行具合の確認でした。1つだけ映画をクラスで見た感想文をリーダーシップの観点から見て書いたのを覚えています。		
感想を自由記入	ディスカッションが多かったのですが、教授が全員平等に話す機会をくださったため、自分でもディスカッションに難なく混ざる事ができました。プロジェクトの中で発案をしたり、それが採用されより深くそれについて議論していたりしたときは達成感があって楽しかったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
principle of argumentation	議論の原理
科目設置学部・研究科	communication studies
履修期間	Spring 2022
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ディスカッションベース(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	
授業内容	議論やディスカッションにおける説得力について学ぶ講義。自分の主張の構成要素や説得力を高めるために必要な項目をおさえ、それを実践で身に付けていく授業です。
試験・課題など	教科書を授業前に読むべきだが全てを読む必要はない。最初は全て読んでいたが、時間がかかりすぎてしまい、自分はその後流し見をして内容を大まかにつかむだけやっていました。中間と期末の時期にグループもしくは個人でのワークとプレゼンテーションがありました。
感想を自由記入	教授はおしゃべり好きでよく講義に関係ない話をしたり、自分がクラスから少し遅れ気味になったりしたら助けてくれてとても助かったし楽しい授業でした。ただ難点は教授が授業でpower pointを使わないため、話を聞いて理解するのに難がありました。自分は中間のグループワークでクラス外でも遊んだり日本に帰っての今でも電話したりするいい友達ができました。最初の学期でとるのは難しい授業かもしれませんが、英語に慣れ始めた2学期目にはおすすめです。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
とくにはない。アーカンソーとはどこか、コロナの発生状況などを確認し、コロナ禍でも行けるか、生活におけるコロナとのかかわりやストレスがなるべく少ないところであるかなどを考慮していた。
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	明治大学国際日本学部に入学
	4月～7月	コロナで全てがシャットダウンしていたが最低限の勉強はしていた。成績が大事と知っていたため GPA は3以上をキープ
	8月～9月	TOEFL を 2 回受け、ある程度選択肢が広がる程度までの点数を獲得
	10月～12月	大学間協定出願。アーカンソー州立大学に合格
留学開始年	1月～3月	大学の授業に専念。バイトでこつこつお金を貯めていた。留学が不可能と大学側から言われ、アーカンソー州立大学との入学手続きを一度中断。
	4月～7月	6 月に留学可能と判断され直前に準備再開。履修や寮、VISA などの手続きを他の留学候補者の友人と協力して行う。
	8月～9月	アメリカ渡航
	10月～12月	10 月：末に中間。11 月：サンクスギビングでアメリカ人の友人宅に滞在。12 月：中旬に期末。学期終了
留学/帰国年	1月～3月	1 月：フロリダの友人に会いに小旅行。2 月：フラタニティと言われる団体に所属することを決定。そのイベントなどで旅行など。3 月：友人と春休みを利用してシカゴ
	4月～7月	4 月：期末試験。少しずつ帰国の準備。5 月：お別れパーティーや友人と遊び。飛行機チケットを予約(早くやるべき。高かった)。帰国までホストファミリーと友人
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

全て正直に話します。まず第一志望はカリフォルニア州立大学ロングビーチ校で、この大学を選んだ理由は、なんとなくコロナの発生数も少なく、コロナに関するストレスをあまり感じずに生活できるのではないかと、あくまで第一志望以下の大学に関しては深く考えていませんでした。少なくともアメリカの大学に来ることが出来たという点ではとても良いことで、自分自身とてもありがたいことだと思っています。ですがこの大学ならではの悩みや問題が多々あることなど、ただ遊んでストレスも抱えないような楽しいだけの留学生活を送るというのはどのように立ち回っても難しいものであると自分は考えています。つまり悩みは付き物ということです。というのも、皆さんが想像している留学は、たくさんの外国人に囲まれながらパーティーをしたり遊んだりするだけで悩みもなく日本にはない幸せな生活であると思いますが、この大学での実態は、現地に在籍している日本人が 50 人程度と多く、どこにでもいる日本人を避けて生活することへのストレスやシンプルに直面する自分の英語力不足など多くのストレスを感じるとともに、自分の地域が田舎で華やかな都会の生活とは程遠かったため、他の地域、国で留学をしている他の明大生を見て嫉妬するなど悩むことはとても多い生活を送っていました。一方良い点としては、多くの外国人と仲を深められたこと、その中で一生涯の友人や帰国してもかかわりを持ち続けてくれる友人ができたことかと思っています。自分自身友人を作ること自体に苦手意識はないのですが、アメリカでは特に全員がオープン且つ社交的で、とても良い友好関係を築けたと思っています。特に寮や授業、所属団体などからアメリカ人の友達がたくさんでき、そのほかにもインターナショナル生やスポーツ選手など多様性に満ちた友好関係を築くことが出来ました。キャンパスが非常に狭いことが良く作用したとも思っていますが、自分自身が友達を作りたいという意識を前に出していったことが功を奏したかと思っています。休み中には友人の実家に連れて行ってもらったり、旅行に行ったり、放課後は公園に行ったり映画を見に行ったりクラブに行ったり、ジムで友人を作って毎日一緒にワークアウトをしてそこから友人の寮でだべったりなど、遊ぶ内容は都会程多岐には渡らず一辺倒かつシンプルでしたが、人とかかわりという最も重要な面において友人とたくさんの時間を共有できたことが自分自身の大きな財産になったかと思っています。このような形で、留学の良い面、悪い面など連ねましたが、結局は自分の意識でなんとか英語力も存分に付けることができ、会話には特に難は無く、自分に自信がつく程度まで成長することができました。また、自分自身の人間としての大きな変化、成長が目に見えてわかるようになりました。自分の目的を達成するために考え、努力続けてきたことが自分の忍耐力や向上心を強くしたり、現地学生との交流から刺激を受け、日本にいたときより考え方が前向きになることが出来たとも思います。今の所感としては、ただの英語力の成長だけではなく、個人の肉体的な成長の面に、この大学を選ぶ価値があるのではないかと心から感じています。ただ自分から次の候補生の方に 1 つ言いたいこととしては、「留学する意義、目的を失わないこと」を忘れないでほしいということです。これを意識していれば絶対に大丈夫だと思います。自分の次にこの大学に交換留学に行く方は僕に連絡してください。国際教育事務室伝いできつとメールアドレスがもらえるはずなのでお願いします。つらい経験も楽しい経験も通り返ってきた自分だからこそできる最大限の助言、手助けをしようと思うので、どうか躊躇なく連絡してください。